

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 15 No.8 2013年4月30日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

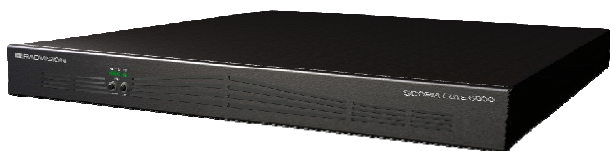
Copyright 2013 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

日本アビア、クラウド型ビデオ会議サービスに対応するビデオ会議 MCU と、オールインワンデザインビデオ会議端末の2製品を発表

日本アビア株式会社(東京都港区)は、1080p60fps デュアルストリームに対応したビデオ会議 MCU(多地点制御装置)「Scopia Elite 6000 Series MCU」および、MCU機能内蔵オールインワンビデオ会議端末「Scopia XT Executive 240」の2製品の提供を開始と発表。(4月4日)

Scopia Elite 6000 Series MCUは、品質が予測できないネットワーク環境でも画質の劣化を防ぐことのできるH.264/SVCと、30%~50%の帯域削減により効率的なネットワーク帯域の利用を可能にするH.264 ハイプロファイルに準拠することで、たとえば、2Mbpsの帯域で1080p/60fpsの高画質ビデオを提供することが可能となったという。



Scopia Elite 6000 Series MCU (日本アビア 資料)

Scopia Elite 6000 Series MCUは、フルHDを40ポートまで提供する1Uシステム構成。ひとつの画面で最大28分割表示が可能となっている。「Scopia Elite 5000 Series MCU」と比較して、2倍の高画質と5倍のポート密度となり約半分の消費電力と省スペースを実現している。企業内での利用のほか、クラウド型のビデオ会議サービス用システムとしても利用可能。

主要メーカーのH.323やSIPビデオ会議システム端末、テ

レプレゼンタンス、UCプラットフォームと相互接続ができるとともに、無償のクライアントアプリケーション「Scopia Desktop(PC用)」と「Scopia Mobile(タブレット、スマートフォン)」を使用することにより、PC、Mac、タブレット、スマートフォンによるモバイルビデオ会議も可能となっている。

「バーチャル MCU」機能(2009年米国特許権取得済み)により、既存製品と比較して2倍の最大2,000同時コールや、最大40万ユーザまで利用可能となっている。ただし、その際には、ビデオ会議管理システム「Scopia Management」が必要となっている。

一方、Scopia XT Executive 240は、エコーキャンセラー付きマイク内蔵フルHD対応カメラおよびHi-Fiスピーカー内蔵24インチディスプレイを搭載。H.264/SVCとH.264ハイプロファイルに準拠。



Scopia XT Executive 240(日本アビア 資料)

MCU機能内蔵(オプションライセンス)で1台4拠点会議が行える。Scopia DesktopやScopia Mobileと組み合わせることで会議専用端末だけでなく、PC、Mac、タブレットなどを含めた多地点会議が行える。

加えて、Scopia Elite 6000 Series MCUのH.264/SVCと

H.264 ハイプロファイルとを組み合わせることでエンドツーエンドの高画質ビデオを実現していると会社では説明する。

シانس・アール、タブレット PC を利用したペーパーレス会議システムの取り扱いを開始

株式会社シانس・アール(東京都中央区)は、株式会社 BTB Solution(韓国ソウル市)のペーパーレス会議システム「PUMP PAPERLESS MEETING(パンプペーパーレスミーティング)」の提供を3月25日より開始。(3月25日)

PUMP PAPERLESS MEETING は、スマートデバイスを活用し、各種形式(PDF・マイクロソフトオフィス・HTML・JPEG・MP4)のファイルを登録および共有することができるペーパーレス会議システム。

ファイルをサーバ側で画像に変換してスマートデバイスに配信する仕組みを採用しており、クライアント端末は、Android(2.3以降)およびiOS(5.0以降)に対応している。1件の会議当たりのデバイスを最大 10,000 台まで同時にサポートできる拡張性を備えている。またBYODにも対応しているとしている。

文書や動画の参照、表示画面の同期や文書への書き込みなど一般的なペーパーレス会議ソフトに求められる機能を一通り揃えているほか、MDM 技術(Mobile Device Management)により、デバイスの認証機能、会議中の画面キャプチャー/印刷禁止、会議終了時のデータ消去など情報漏洩を防止するセキュリティ機能もあわせて提供している。

シانس・アールは、2003年9月19日設立。ソフトウェア製品の販売および利用を支援する各種サービスの提供を行っている。

BTB Solution は、2004年5月25日設立。モバイル端末向けソリューション開発および販売、通信事業者向けサーバソリューションの開発を行っている。

NTT ビズリンク、IP テレビ会議多地点接続サービスのサービスラインナップを追加

NTT ビズリンク株式会社(東京都文京区)は、クラウド型テレビ会議サービス「フレッツ IP 多地点サービス」の多地点接続メニューを追加したと発表。(4月1日)

今回追加された新しいメニューは、「HD/SD Light(ライト)メニュー」と「Flex(フレックス)メニュー」。

HD/SD Light(ライト)メニュー:2種類のシンプルな画面分割レイアウトや資料共有等の基本的な機能にしぼり、低価格かつ安定した品質で利用できる定額制エントリーサービス。従来通りのセキュアなテレビ会議利用とサポートデスクを提供する。

Flex(フレックス)メニュー:HD/SD 品質の会議を使いたい時に即時開催可能な従量制メニュー。同社提供の会議予約ポータルサイトでテレビ会議の予約・開催も可能。これまでの従量制メニューはSD品質のみ提供だったが、今回HD品質にも対応し、資料共有機能も利用できるようになった。最長2ヶ月後の会議を最大6件まで予約することが可能ではあるが、設備の空き状況次第では即時開催ができない場合がある。

| ラインナップ | 概要 | タイプ | |
|-----------------|--|-----|----|
| | | HD | SD |
| Light(ライト)メニュー | 2種類のシンプルな画面分割レイアウトや資料共有等の基本的な機能を、低価格かつ安定品質でご利用いただけるメニュー。 | ○ | ○ |
| Flex(フレックス)メニュー | HD/SD 品質の会議を使いたい時に即時開催可能(※1)なメニュー。インターネット経由で簡単・手軽な予約機能を利用することで、会議予約(※2)も可能になります。 | ○ | ○ |

ラインナップ(NTT ビズリンク 資料)

<サービス利用費(月額)>

| サービスメニュー名 | タイプ | 利用料金 | 単位 |
|-----------------|---|----------|--------|
| Light(ライト)メニュー | HD Light(ライト) | 18,900 円 | 1 同時接続 |
| | SD Light(ライト) | 16,800 円 | 1 同時接続 |
| Flex(フレックス)メニュー | 以下4つのタイプから事前に会議室登録(4つまで)し、都度選択してご利用が可能。 | | |
| | HD(高性能) | 63 円/分 | 1 利用端末 |
| | SD(高性能) | 42 円/分 | 1 利用端末 |
| | HD(標準) | 31.5 円/分 | 1 利用端末 |
| | SD(標準) | 21 円/分 | 1 利用端末 |

サービス利用費(消費税含む)--サービス利用費においては、会員月会費として、1契約あたり月額1,050円が別途かかる。(NTT ビズリンク 資料)

<初期費>

| サービスメニュー名 | 項目 | 利用料金 | 単位 |
|-----------------|---------------------|-----------|------|
| Light(ライト)メニュー | HD/SD Light(ライト)初期費 | 367,500 円 | 1 契約 |
| Flex(フレックス)メニュー | Flex(フレックス)初期費 | 1,050 円 | 1 端末 |

初期費（消費税含む）(NTT ビズリンク 資料)

今回の追加の背景。NTT ビズリンクでは、フレッツ IP 多地点サービスを 2003 年提供開始以来、標準画質 (SD) および高画質 (HD) に対応したクラウド型のテレビ会議サービスを提供してきたが、同社によると、昨今のテレビ会議市場では、HD テレビ会議端末が主流となっており、より高画質な HD 多地点接続サービスを求めるユーザーが増えているという。また、一方で、自社運用が必要なオンプレミス型のシステム導入ではなく、利用した分だけ支払う低価格で使い勝手のよいサービスを求めるユーザーも増えており、ニーズが多様化しているという。

VTV ジャパン、1080p/60fps 対応 MCU シリーズ「SCOPIA Elite 6000」およびモニター一体型 HD テレビ会議端末「SCOPIA XT Executive240」の販売開始

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、日本アバイ株式会社(東京都港区)より発表(4月4日)された1080p/60fps 対応 MCU シリーズ「SCOPIA Elite 6000 シリーズ」およびモニター一体型 HD テレビ会議端末「SCOPIA XT Executive240」の 2 製品の取扱を開始した。(4月12日)



1080p/60fps 対応 MCU シリーズ SCOPIA Elite 6000 シリーズ (VTV ジャパン 資料)

SCOPIA Elite 6000 シリーズは、優れたビデオ処理性能

と高い拡張性を備えており、企業内での利用のほか、クラウド型テレビ会議用システムとしても利用可能な拡張性の高い MCU シリーズ。

フル HD(1080p/60fps)での送受信とデュアル画面表示(H.239)に対応し、H.264SVC、H.264 ハイプロファイル搭載。

フル HD(1080p/60fps)での多地点接続時は、最大 40 拠点接続。また、HD(720p/30fps)での多地点接続時は、最大 80 拠点まで同時接続が可能だ。加えて、ビデオ会議接続時の HD 分割表示は、最大 28 分割同時表示まで対応している。

一方、SCOPIA XT Executive240 は、24 インチワイド液晶画面・カメラ・マイク・スピーカを搭載した、オールインワン型の HD テレビ会議システム。



モニター一体型 HD テレビ会議端末 SCOPIA XT Executive240 (VTV ジャパン 資料)

オールインワン型であるがゆえに、テレビ会議に必要な機能を全て搭載し、移動を含めた取り扱いが管理者ではなくても簡単にできるところが特長。

標準で HD(720p/30fps)での送受信に対応し、H.264SVC と H.264 ハイプロファイルを搭載。またデュアル画面表示(H.239)、20kHz の広帯域音声(G.719)などに対応している。

オプションで、フル HD(1080p/30fps)での送受信機能、内蔵多地点機能(最大 4 地点接続)を提供する。

今回発表された、SCOPIA Elite 6000 シリーズと SCOPIA XT Executive240 とともに、オプションの「SCOPIA Desktop」や

「SCOPIA Mobile」と組み合わせることで、テレビ会議専用端末だけでなく、PC や Mac およびモバイルからの多地点会議への参加を低コストで実現できるという。

「VTV ジャパンでは、SCOPIA Elite 6000 シリーズおよび SCOPIA XT Executive240 の保守サービスについて自社のサポートスタッフが対応する。導入後も安心してお使いいただけるようサポートさせていただく。」(VTV ジャパン)

VTV ジャパン、テレビ会議端末操作タブレットソフトウェア「EasyTouch」の新バージョンをリリース

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、テレビ会議端末操作タブレットソフトウェア EasyTouch(イージー・タッチ)の新バージョン 2.3 をリリースした。(4 月 18 日)



EasyTouch 操作イメージ (VTV ジャパン 資料)

EasyTouch は、Android タブレットを利用しテレビ会議端末の操作や管理が1台で簡単に行えるサーバ/タブレット用ソフトウェア。

今回のバージョンアップでは、ポリコムやソニー製テレビ会議端末の最新バージョンに対応した他、アバイア(旧 RADVISION)の最新機種へ対応した。また、Windows7/8 のタブレット対応がカスタマイズで可能になった。

EasyTouch は、メーカーや製品の違いを問わず、同じユーザインターフェイス画面でテレビ会議端末の簡単な操作を可能とする。また、サーバから同一ネットワーク上に位置す

る複数のテレビ会議端末に、共有アドレス帳を同時に配信することもできる。

この 2 つの機能によって、メーカーや製品が統一されずに増えてしまったテレビ会議端末のアドレス帳の一括管理や操作を、EasyTouch がメーカーを越えて統一することで管理者の負担を減らすことができる。また、初めてテレビ会議システムを操作するユーザでも直感的に操作を行うことができる。

VTV ジャパンでは、今後もテレビ会議システム運営のサポートや環境改善の提案を行っていくとしている。

インターコール社、同社の電話会議サービスが「Microsoft Lync Online」に対応

インターコール社(日本法人:インターコール・ジャパン株式会社、東京都港区)は、同社の電話会議サービスが「Microsoft Lync Online(マイクロソフト リンク オンライン)」に対応したと発表。(シンガポール:3 月 21 日)

Microsoft Lync Online 対応のリザーベーションレス・プラス電話会議には以下の機能が含まれる。(1)「Microsoft Outlook」を利用した電話会議の予約。(2)さまざまなデバイスを用いた、複数のロケーションからの電話会議への参加。(3)電話会議中の、ダイヤルイン/ダイヤルアウト、ミュート/ミュート解除、ロック/ロック解除、会議の終了など会議制御のための機能。(4)Lync およびインターコールの電話会議参加者、双方の録音を含む VoIP/PSTN の統合。

なお、会議中においても、サポートは提供される。

同社の「リザーベーションレス・プラス電話会議」が、「Microsoft Office 365」に含まれる Microsoft Lync Online とシームレスに統合することで、ユーザはより包括的なユニファイドコミュニケーションを体験できると同社では説明している。

インターコールは、米 West Corporation 社の子会社で、米国に本社をかまえ、4ヶ所のコールセンターと 26 のオフィスを拠点にワールドワイドに展開している。

ビジネス動向-国内

KDDI と笑顔のおうちクリニック、医療用高性能テレビ電話システムを含めたサービス付き高齢者向け住宅における ICT 活用実証実験を実施

KDDI 株式会社(東京都千代田区)と笑顔のおうちクリニック(愛知県名古屋市)は、4月1日から医療および介護事業者向けサービスの商用化検討に向けた実証実験を行うと発表。(3月27日)

実証実験では、タブレットを活用した医療用高性能テレビ電話システムの導入や、介護記録の電子共有化を行うことで、医療従事者と介護従事者の情報共有化を図る。

その中で、医療用高性能テレビ電話システムにおいては、医師や介護ヘルパが高齢者の表情を確認しながら、遠隔で応答あるいは診療を行う。加えて、高齢者が操作を行うことなく、遠隔から患部の写真撮影や保存などを行えるようになっている。

KDDI と笑顔のおうちクリニックによると、実証実験第一弾として、千葉県松戸市のサービス付き高齢者向け住宅(約20名の高齢者が入居)を対象に、3ヶ月間トライアルを実施する。また、今回の実証実験等を通じて、介護分野における ICT 活用の可能性について検証を進め、2014年以降の商用化を目指す。

製品・サービス動向-海外

Zoom Video Communications 社のデスクトップ & モバイル HD テレビ会議が H.323 に対応、専用端末との接続が可能に

Zoom Video Communications 社(米、カリフォルニア州)は、同社のクラウド型コラボレーションサービス「Unified Meeting Experience(UMX)」が H.323 に対応したと発表。(3月15日)

UMX に「the Room Connector」を追加することで、H.323 テレビ会議システム端末は、UMX の HD テレビ会議に接続し、最大 25 人の参加者と映像と音声ならびにスクリーン共有を交えた会議が行えるようになる。

同社の UMX サービスは、デスクトップ PC やモバイルデバイスから参加でき、すでに 65 万人から利用されたと同社では発表している。

Zoom 社のパーソナルプランは無料だが、エンタープライズプランは、ホスト1台あたりヶ月 9.99 米ドル。今回発表された the Room Connector は、5月から利用できるようになる。エンタープライズプランユーザは無償にて利用できる。

Yorktel 社、クラウド型テレビ会議サービスを発表、クラウドサービス・マネージドサービス・企業間相互接続の 3 サービスを提供

ビデオマネージドサービスを提供する Yorktel 社(米、ニュージャージー州)は、クラウド型テレビ会議サービス「Yorktel Video Cloud」を発表した。(3月18日)

Yorktel VideoCloud は、エンタープライズ向けのクラウドサービスで、「Microsoft Lync」と「Microsoft Office 365」とフルインテグレーションされている。これにより、オンプレミス版の Lync サーバや Microsoft Office 365 も含め、Lync クライアントは、シスコ、ポリコム、アバイア (RADVISION)、ライフサイズ、Vidyo、その他のテレビ会議システムとの接続が可能になる。

同社では、今後、クラウドサービス、マネージドサービスを含め、3つのサービスを提供していく。

(1)「VideoCloud Virtual Meeting Room」:予約不要なオンデマンドテレビ会議サービス。H.323 や SIP に対応したルームタイプ、デスクトップ、モバイル端末各種に対応する。

(2)「VideoCloud Managed Conferencing Service」:フルマネージドテレビ会議サービス。会議予約、会議モニター、インシデント管理、保守、ユーザエクスペリエンス報告、SLA などが含まれる。

(3)「VideoCloud B2B Service」:企業間テレビ会議接続サービス。ひとつの企業内ネットワークからもうひとつ別の企業のネットワーク間でのテレビ会議接続を実現するサービス。

Yorktel 社は、1985年設立。テレビ会議、ストリーミング、ビデオイベント制作、デジタルサイネージなどのソリューションからクラウドサービスやマネージドサービスを企業および連邦

政府向けに提供している。オフィスは北米のほか、EMEA地域にもある。

Blue Jeans Network 社、クラウド型テレビ会議サービスの機能強化：タブレット、TelyHD、デュアル HD ストリーム対応

Blue Jeans Network 社(米カリフォルニア州)は、同社のクラウド型テレビ会議サービスの機能強化を発表した。(3月13日)

今回の機能強化を同社では、「Room to Remote」と呼び、以下の3つが含まれる。

(1) iPad と iPhone 向けのモバイルアプリケーション: Blue Jeans Network 社のサービスでは、シスコシステムズ、ポリコム、ライフサイズ、ソニー、Huawei、マイクロソフト社 Lync や Skype、Google、WebRTC、電話に対応しているが、タブレットやスマートフォンも対応することになる。

(2) TelyHD テレビ会議システムとの相互接続: TelyHD のテレビ会議システム「Enterprise Edition」では、Blue Jeans Network 社のテレビ会議サービスに、オンスクリーンメニューから接続できる。

(3) デュアル HD ストリーム: ビデオ映像とコンテンツ共有について HD 対応。ルーム、デスクトップ、モバイルで対応。また、スライダーレイアウトコントロール機能により、共有コンテンツのサイズ、形、ズームイン/アウトが可能。

Vidyo 社、仮想化ソリューションを発表

Vidyo 社(米、ニュージャージー州)は、仮想化ソリューション「VidyoGateway and VidyoPortal Virtual Edition(VE)」を発表。(3月18日)

VidyoGateway and VidyoPortal Virtual Edition は、Vidyo ビデオ会議ソリューションの中核となるインフラストラクチャプラットフォームを仮想化するソリューション。これにより、高品質で、スケーラブル、しかも、柔軟性の高いビデオ会議ソリューションの構築が可能となり、エンタープライズユーザやサービスプロバイダーを問わず、オンプレミス導入からク

ラウド(プライベート、パブリック、ハイブリッド)導入まで対応する。

PGi 社のクラウド型ソリューション「iMeet」、Android に対応

PGi 社(米、ニュージャージー州)は、同社のクラウド型ソリューション iMeet が、Android に対応したと発表。(3月18日)

PC、Mac、iPhone、iPad に加え、今回 Android に対応することになる。セキュアな環境で、最大15名参加できるHDビデオ会議だけでなく、ファイル共有(ビデオ、写真)、プレゼンテーションなどがシングルタップで操作できる。また、会議に参加するだけでなく、会議の開催や会議中の制御操作も行えるようになっている。会議参加にあたっては、ダイヤルイン番号やパスコードはなくシングルタップで参加ができる。

対応言語は、英語、ドイツ語、日本語となっている。アプリは、Google Play から無料ダウンロードできる。アプリは、会議主催者(ホスト)でもゲスト参加者でも無料だが、会議参加については、ゲスト参加者は無料となっている。iMeet は、フリーのトライアルも提供している。

PGi 社は、バーチャルミーティングサービスを20年以上提供している。日本を含め5大陸25の国々にグローバルプレゼンスを持つ。顧客は4万社以上。フォーチュン100社の75%が同社サービスを利用しているという。過去5年で、137カ国から約10億もの人に対して2億分のバーチャル会議サービスを提供した実績があるという。ニューヨーク証券取引所上場企業。日本法人は、プレミアコンファレンシング株式会社(東京都中央区)、大阪支店もある。

Magor 社、クラウド型「Aerus プラットフォーム」を発表

Magor Corporation 社(カナダ、オタワ)は、クラウド型「Aerus プラットフォーム」を発表した。(3月18日)

Aerus は、同社のテレビ会議ソリューションをクラウド環境で実現するもので、スケーラブルな分散型サーバアーキテクチャを特徴としており、集中型アーキテクチャーを特徴とした従来のテレビ会議システムの限界(スケーラブル、コスト面)を

解決する。

今回のクラウド型へのシフトは、昨今のハードウェアからソフトウェアへ移り変わろうとしている市場トレンドを取り込む目的がある。

Aerus は、インターネット環境でハイビジョンを実現し、SIP、H.323、Skype、WebRTC との通信に対応する。予約もしくはアドホックのテレビ会議開催が可能。また、コンテンツ共有においては、PC やラップトップの資料の共有のほか、ホワイトボード・iPad・データベースなどのコンテンツも共有できる。一方、カスタマイズなどの面では、API やビリング機能もそなえ、ビジネスプロセスとの統合も可能だ。

発売は、5月1日から。トライアル提供中。

Arkadin 社、同社の Web 会議サービス向け Android アプリを発表

Arkadin 社(フランス)は、同社の中核となる Web 会議サービス「Arkadin Anywhere」向けの Android アプリをリリースした。(3月21日)

この Android アプリによって、Android タブレットやスマートフォンから、ワンクリックで Web 会議や音声会議へアクセスできるとともに、簡単にプレゼンテーションや資料共有(フルスクリーン共有など)、チャット(プライベート/パブリック)が行える。また招待機能はメールや電話で行え、すぐに会議を開始できる。なお、会議中の会議制御についてはコントロールパネルを使用する。

アプリは、Android 向けだけでなく、iOS 端末、Blackberry 端末にも対応する。アプリは無料で、今回発表された Android 向けは、Google Play にてダウンロード購入できる。

ビジネス動向-海外

PGi 社と TeliaSonera 社、北欧とバルト三国に PGi 社のコラボレーションソリューション提供で締結

PGi 社(米、ジョージア州)は、TeliaSonera 社(テリアソネラ社、スウェーデン)と戦略的提携を行ったと発表。(3月20日)

TeliaSonera 社は、北欧とバルト三国に通信サービスを

提供する事業者。今回の提携によって、TeliaSonera 社は、PGi 社のビデオ、Web、音声コラボレーションソリューションを北欧とバルト三国に提供することになる。具体的なサービスは、次世代のソーシャルビデオ会議ソリューション「iMeet」と音声会議ソリューション「GlobalMeet Audio」。iMeet は、デスクトップ PC、タブレット、モバイルなどどこからでも、最大 15 人までの会議に参加できる。

欧州では、クラウド型のビジネスコラボレーションへの需要が伸びており、その中で、TeliaSonera 社は、北欧とバルト三国に強みをもつことから、PGi 社にとっては、理想的なビジネスパートナーとなるという。

オーマンの電気通信事業者 Omantel 社とポリコムディストリビュータ FVC 社、中東でのマネージドビデオ会議サービス提供で提携

オーマンの電気通信事業者 Omantel 社は、テレビ会議マネージドサービス「Managed Video as a Service(MVaaS)」提供で FVC 社と MoU を締結。(3月27日)

MVaaS は、オーマンのローカルビジネスに提供される計画で、Omantel 社と FVC 社は、共同でテレビ会議マネージドサービスを近々提供開始の予定。これにあわせて、スルタン国では初めてとなる、VNOC の設立も行う。FVC 社は、中東・北アフリカ地域でのポリコムディストリビュータ。

UCi2i 社、ビデオ会議ソリューション提供で Cisco Captial Fincence 社と Comstor 社と提携

グローバルなビデオ会議マネージドサービスを提供する UCi2i 社(イギリス、香港、2009 年設立)は、Cisco Captial Fincence 社と Comstor(Westcon Group)社と提携し、ビデオ会議ソリューション「Video Ready」の提供を開始する。(3月26日)

Video Ready は、Comstor 社からサポートされた UCi2i 社のグローバルビデオプラットフォーム(セキュアなデータセンターに設置)において提供される。また、サービスは、ビデオ会議端末、3 年保守契約、「UCi2i Connect ビデオマネージドサ

ービスプラン」からなり、月額利用料は固定となっている。

加えて、ビデオ会議を行う際には、ユーザ毎にリソースが割り当てられているため基本的には事前の予約は必要なく利用できるようになってきているという。

SoundConnect 社、同社の電話会議サービスの会議参加者数を 300 ポートまで増加

SoundConnect 社(米、イリノイ州)は、同社の電話会議サービスの会議参加者数を 300 ポートまで増加させたと発表。(3月27日)

顧客からの要望を受けての今回のポート数増とのことで、これまでのポート数から 240%増加させたことになるという。

SoundConnect 社は、電話会議、Web 会議、ウェビナー、イベントサービス、テレビ会議、PBX ホスティング、VoIP、Google Apps for businesses、Microsoft Lync などのクラウドサービスも展開している。

MeetingZone 社、「Microsoft Lync」スペシャリストである Atia Communications 社を買収

MeetingZone 社(イギリス)は、ユニファイドコミュニケーションソリューションに強みを持つ Atia Communications 社を買収した。(3月25日)

MeetingZone 社が、2011年8月に GMT Communications Partners 社に買収(3850万英ポンド)されて以来、初の他社買収となった。現在、MeetingZone 社は、シスコシステムズ社の「Cisco WebEx」サービスを提供しているが、今回、マイクロソフト社の「Lync」スペシャリストである Atia Communications 社を買収することでユニファイドコミュニケーションサービスを強化し、さらには欧州市場での地場を固める狙いがある。

MeetingZone 社と Atia Communications 社は、お互いのサービスを共同でプロモーションしていくが、Atia 社については、これまでどおり一事業会社として展開する。

市場動向-国内

シード・プランニング、ビデオ会議/Web 会議/音声会議の最新市場調査を実施

株式会社シード・プランニング(東京都文京区)は、ビデオ会議/Web 会議/音声会議の最新市場調査を実施しその結果をまとめた。(3月27日)

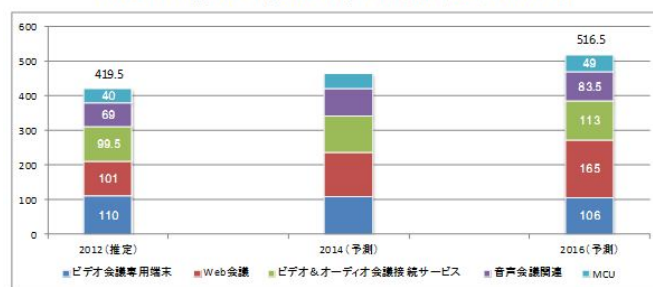
同社では、2003年から毎年、ビデオ会議(専用端末タイプ)、Web 会議(SIタイプ/ASPタイプ)、音声会議(端末/音声会議サービス)の市場調査を実施してきたが、今回はその 10 回目となる。国内主要メーカ、ベンダーへの訪問ヒアリングにより、製品動向、業界動向、市場動向、メーカ戦略など最新動向を調査・分析している。調査期間は、2012年11月30日から2013年3月15日。

市場規模予測や製品分類を見直しするとともに、有識者に市場規模動向をヒアリングすることで、より正確な市場規模やメーカシェアを目指している。

製品分類については、今回あらたに、ビデオ会議接続サービスと音声会議関連製品(マイクスピーカ、ヘッドセット)を加え、再整理することで、以下の 5 分類とした。

- (1)「ビデオ会議専用端末」:SD タイプ、HD タイプ、テレプレゼンス。
- (2)「Web 会議」:ASP タイプ、SI タイプ。
- (3)「ビデオ&オーディオ会議接続サービス」:ビデオ会議接続サービス、音声会議サービス。
- (4)「音声会議」:音声会議端末(アナログ、IPタイプ)、マイクスピーカ(スピーカフォン)、ヘッドセット(会議用)。
- (5)「MCU」:多地点接続装置、サービス。

国内ビデオ会議/Web 会議/音声会議関連市場規模予測(単位:億円)



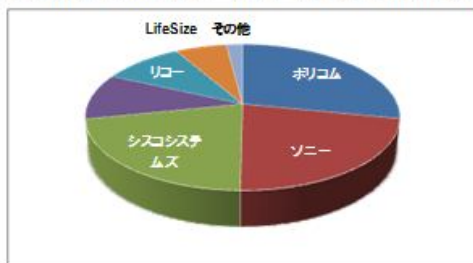
(シード・プランニング作成)

市場規模予測(シード・プランニング資料)

上記の調査方法により市場状況として見えてきたところによると、ビデオ会議専用端末は横ばい傾向であるものの、一

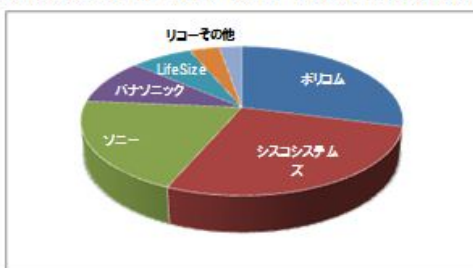
方の Web 会議は、ASP タイプと SI タイプの合計で年率 110%以上の伸びとなり、2012 年の売上ベースの市場規模は、101 億円 (ASP:63%、SI:37%)となった。

ビデオ会議 メーカーシェア:台数 (2012 年見込、国内)



(シード・プランニング作成)

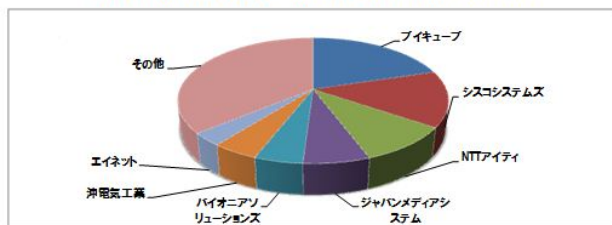
ビデオ会議 メーカーシェア:金額 (2012 年見込、国内)



(シード・プランニング作成)

ビデオ会議メーカーシェア (シード・プランニング 資料)

Web 会議 (SI+ASP タイプ) メーカーシェア:金額 (2012 年、国内)



(シード・プランニング作成)

Web 会議メーカーシェア (シード・プランニング 資料)

今後、Web 会議市場の伸びが牽引し、結果、ビデオ会議/Web 会議/音声会議の市場規模としては、2012 年の 420 億円 (推定)から、2016 年には、517 億円に拡大すると同社では予測する。ビデオコミュニケーションからユニファイドコミュニケーションへ市場は変化しているという。

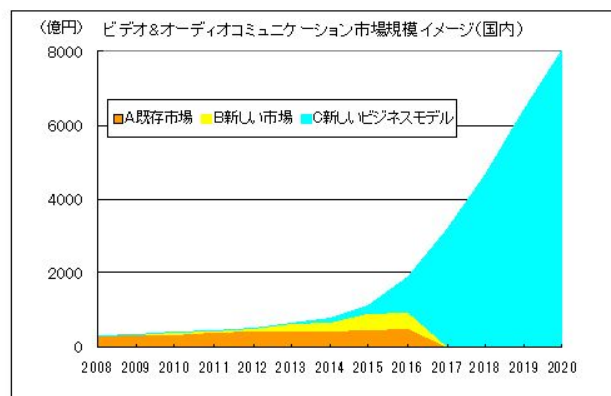
ビデオ会議市場シェアについて:日本市場の 2012 年の見込は、台数ベースでは、1位がポリコム、2 位がソニーの順。一方、金額ベースでは、1位がポリコム、2位がシスコ

システムズとなっている。

Web 会議市場シェアについて:SIタイプ市場における上位企業は、沖電気工業、NTT アイティ、パイオニアソリューション。一方、ASP タイプでは、ブイキューブ、シスコシステムズの上位は変わらないが、この 2 社で 5 割強を占める。また、SI タイプおよび ASP タイプの金額合計では、ブイキューブが引き続きトップで、シスコシステムズ、NTT アイティ、ジャパンメディアシステムズと続く。

先述の 5 分類に加え、今後、市場では新しいビジネスモデルが台頭すると期待されており、両者をあわせた「ビデオ & オーディオコミュニケーションビジネス」の市場規模は、2020 年には 8,000 億円になると見込まれている。

ビデオ&オーディオコミュニケーション市場規模イメージ(国内、単位:億円)



(シード・プランニング作成)

市場規模イメージ (シード・プランニング資料)

新しいビジネスモデルとは、(1)クラウドサービスの中での「ビデオ & サウンドコミュニケーション」、(2)モバイル端末(スマートフォン、タブレット)での「ビデオ & オーディオコミュニケーション」、(3)その他、双方向同時映像関連サービスと、同社では設定している。

セミナー・展示会情報

<国内>

会議の効率化を実現! 『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程: 5月15日(水)、22日(水)、29日(水)、6月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)

※全ての日程で 13:30-14:30、15:30-16:30 の 2 回開催

会場: NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催: 日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込 <http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

第4回教育ITソリューションEXPO

日時:5月15日(水)-17日(金) 10:00-18:00

会場:東京ビッグサイト 東1,2ホール

小間番号:4-23 プリンストンテクノロジーブース

詳細:http://www.princeton.co.jp/polycom/cgi-bin/update/data/update/2013_0515_edix.html

出展製品: Polycom 社ビデオ会議システム、Vidyo 社モバイルビデオ会議システム、その他デジタルコミュニケーションツール

**成果を生み出す新しい営業会議のカタチ！
ソフトブレン / ブイキューブ共催セミナー**

日時:5月23日(木) 14:00-16:30(受付開始:13:45)

会場:八重洲サンスカイルーム(東京都中央区)

主催:ソフトブレン株式会社、株式会社ブイキューブ

詳細・申込:http://www.softbrain.co.jp/seminar/other/tokyo_130523.html**【"見える"カレッジセミナー in 大阪】 Web 会議の活用
法とメリットとは ~テレビ会議 (Polycom) と使う、ス
マートフォン・タブレットで使う~**

日時:5月23日(木)14:00-16:00 (受付:13:30-)

会場:TKP 大阪梅田ビジネスセンター(大阪市福島区)

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/82>国内その他:<http://cnar.jp/cna/event-j.html>海外その他:<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

*イベント情報は、情報が入り次第、随時掲載しています。

Twitter、Facebook、dte-forum

ツイッターとフェイスブック、dte-forum を通して遠隔会議関連の情報を配信しています。よろしければご覧ください。

定期レポートでは各社からのプレスリリースあるいは取材をベースに作成されていますが、dte-forum とフェイスブックページでは、橋本がピックアップした、インターネットで閲覧できるさまざまな遠隔会議およびUC関連の情報(テキスト、写真、動画、音声)を皆さんとシェアしています。Twitter では各社からのリリース及びメディアの記事の見出しなどが中心です。

>dte-forum メーリングリスト<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>**>Twitter**-日本語版: <https://twitter.com/cnarjapan>-英語版: <https://twitter.com/cnarjp>**>Facebook**

-「遠隔会議システム & ユニファイドコミュニケーション市場トレンドワッチ」

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

-「橋本啓介」個人のページ

<https://www.facebook.com/keishashimoto>**CNA Report Japan アーカイブ電子ブック版**

>2003年-2012年

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2013年

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/ebook/

電子ブック制作:カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>**編集後記**

今号もお読みいただきましてありがとうございます。

5月上旬は、リードエクジビジョンジャパン主催の「スマートフォン&モバイルEXPO」「クラウド コンピューティングEXPO」(東京ビックサイト、5/8-10)、「教育ITソリューションEXPO」(東京ビックサイト、5/15-17)が開催されます。

各展示会では、遠隔会議関連の企業も出展するようですので各展示会のウェブサイトをご確認されるとよいのではないかと思います。

市場の動きを日々ワッチしていますが、多くの企業やメディア、調査会社などから日々発表などの関連情報が発信されています。年々その量は増大しているのを日々実感しています。どのように情報を収集し、分析し、そして発信していくか、情報への向き合い方も含め勉強をしなければと痛感しています。

クラウドやモバイル、ソーシャル、そして遠隔会議&UC市場では特徴的な WebRTC などの動きから、北米ではベンチャー企業が多数生まれつつあるようです。数年後には数えることができないくらいのさまざまな多くの企業が市場でサービスなどを展開しているかもしれません。このあたりの動きは、dte-forum やフェイスブックページで皆さんとシェアしていきます。

次号もよろしくお願ひ致します。 橋本啓介